



昨年のお披露目式の様子

平成 28 年 1 月 25 日 (月)

あいち産業科学技術総合センター

尾張繊維技術センター 素材開発室

担当 宮本、島上、福田 (嘉)

電話 0586-45-7871

愛知県産業労働部産業科学技術課

管理・調整グループ

担当 加藤、山田、杉山

内線 3389、3388

ダイヤルイン 052-954-6347

(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター

担当 永田、山田

電話 0586-46-1361

## 開発した福祉向け衣料をお披露目します！

### ーサマースーツとストレッチパンツを共同開発ー

あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター（以下、尾張繊維技術センター）と公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター（以下、FDC）は、県立一宮特別支援学校及び繊維製品製造企業と共同で、例年、福祉向け衣料を開発し、お披露目式を行っています。

このたび、春夏向けレディーススーツと秋冬向けメンズパンツを開発しました。

レディーススーツは、冷感の高い快適性に優れたウール 100%の生地を用いています。メンズパンツは、デニムの柄をプリントした伸縮性が高く、裏起毛で保温性の高いニット生地を用いています。

平成 28 年 2 月 1 日 (月) に、県立一宮特別支援学校において、これら開発品を関係者に紹介するお披露目式を開催します。

#### 1 お披露目式の概要

開発したレディーススーツおよびメンズパンツを開発者から生徒 2 名に手渡して、関係の皆様にお披露目します。

今年度は高等部 2 年生の女子の要望をもとに春夏向けレディーススーツの開発を、小学部 5 年生の男子の要望をもとに秋冬向けメンズパンツの開発を行いました。開発体制は表のとおりです。

##### (1) 日時

平成 28 年 2 月 1 日 (月) 午後 3 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

(※ 各種警報等の発表に伴い一宮特別支援学校が休校となることがあります。その際の対応については、当日お問い合わせ頂きますようお願いいたします。)

## (2) 場 所

愛知県立一宮特別支援学校

(所在地：一宮市杉山字氏神廻1 電話：0586-51-2221)

## (3) 次 第

ア 開会

イ 校長あいさつ

ウ 開発者代表あいさつ

エ 開発者から生徒に手渡し

オ 生徒代表のことば

カ 試着・記念撮影

### 表 開発体制

企画・生地	尾張繊維技術センター
企画・調整	(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター
ニーズ抽出、評価	県立一宮特別支援学校
企画	丹羽正毛織(株) (津島市)
企画、デザイン、生地	ササキセルム(株) (一宮市)
デザイン	服飾デザイナー 小林隆臣氏 (岐阜県安八郡安八町)
糸、加工	尾泉染色(株) (一宮市)
糸、加工	オゼキオリジナル (一宮市)
生地、加工	津島毛織工業協同組合
加工	(株)サカイナゴヤ (稲沢市)
パターンメイキング、縫製	(株)ナイガイ (一宮市)
パターンメイキング、縫製	倉敷スクールタイガー縫製(株) (岡山県倉敷市)

## 2 開発内容

### (1) 春夏向けレディーススーツ

使用した生地は、尾張繊維技術センターの特別課題研究である「クールビズに対応した夏用繊維製品の開発」(平成26年度～平成27年度)の成果を活用して、製作しました。接触冷感<sup>\*1</sup>・通気性・透湿性に優れたウール100%の織物です。

また、後身頃に伸縮性の高いウール100%のニット生地を用い、背中部分にファスナーをつけることで、着替えやすく、着心地のよい構造となっています(図1)。

ほかにも、車椅子の胸ベルトを隠せるように脇部分にスリットをつける、生地に防臭性を持たせるなど、車椅子の子供たちが快適に着用できるように様々な工夫をこらしています。

### (2) 秋冬向けメンズパンツ

デニムの柄をプリントした伸縮性の高いニット生地を用いて、着替えやすく、着心地のよい構造でありながら、足がすらっと見えるようなデザインのパンツです。

そのほか、自身での脱ぎ着がしやすいようにパンツに取手をつける、起毛した裏地を貼り合わせる、など様々な工夫をこらしています(図2)。

ニット生地



スリット ファスナー

図1 ジャケットの特徴  
(左：前身、右：後身)



取手

図2 パンツの特徴  
(左：前身、右：後身)

### 3 背景

尾張繊維技術センターと FDC は、平成 20 年度より、県立一宮特別支援学校及び地元企業と共同で、車椅子で生活する小学生から高校生までの子供たちの希望を叶えようと福祉向け衣料の開発支援に取り組んできました。

車椅子で生活する子供たちは、一般に市販されている衣服では動きづらかったり、着替えるのが難しかったりすることが多く、自分が望む衣服を着ることができず不便な思いをしています。

そこで、学校の子供たちの希望をもとに、**身体の動きに合わせた衣服のデザインや素材の検討**を行い、保温性やストレッチ性など機能性に優れた生地を開発するとともに、**着やすい・着せやすい工夫や、車椅子に座った状態でもシルエットが美しくなる工夫**を重ねた福祉向け衣料の製作を行ってきました。

これまでに、レディーススーツ\*2、ジャケット・パンツ\*3、メンズコート\*4、レディースコート\*5、礼服、スーツ\*6、ブルゾン・デニムパンツ\*7 を製作しました。これらの衣料には、毛織物の産地である尾州地域で長年にわたって培われてきた様々な技術が詰まっています。

### 4 問い合わせ先

あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室

担当 みやもと 宮本、しまかみ 島上、ふくた 福田 (嘉)

所在地 一宮市大和町馬引字宮浦 35

電話 0586-45-7871 FAX 0586-45-0509

## 【用語解説及び参考】

### \*1 接触冷感

生地を手を触れて「冷たく」感じることを数値化したものです。数値が大きいほど「冷たく」感じます。

### \*2 レディーススーツ（平成 21 年度開発品）

ウール 100%織物を使って、随所に設けたフックやファスナー、座った状態で胸元や膝元がはだけないデザインにより、ひとりでも着やすいスーツを開発しました。

### \*3 ジャケット・パンツ（平成 22 年度開発品）

伸縮性に富んだ綿 100%のデニム生地（ジーンズなどに使われる厚手の織物）を使って、フックやファスナーの設置、姿勢維持のための車椅子の固定ベルトを隠すようなデザインにより、着脱が容易ながらシルエットの美しい服を開発しました。

### \*4 メンズコート（平成 23 年度開発品）

体の可動域を考慮し、背中部分を大胆に開いたデザインや、袖にファスナーを設けることにより、着脱が容易でシルエットの美しいコートを開発しました。生地自体への抗菌・消臭加工に加え、特に汚れやすい襟や袖口は取り外して洗濯が可能となっています。

### \*5 レディースコート（平成 24 年度開発品）

車椅子がこぎやすいように、肩から袖にかけて伸縮性の高い素材を組み合わせ、脇にファスナーを付けて車椅子がこぎやすくて、歩行する時の補助杖で立ってもすっきりとしたかわいいレディースコートを開発しました。

### \*6 礼服、スーツ（平成 25 年度開発品）

着脱が容易になる袖のファスナーや車椅子の固定ベルトを隠すようなデザインでシルエットの美しい礼服、及びクラッチが装着しやすい袖や車椅子を操作しやすくしたデザインのスーツを開発しました。

### \*7 ブルゾン・デニムパンツ（平成 26 年度開発品）

ブルゾンには防縮加工ウール糸と消臭効果を備えた綿糸を組み合わせ伸縮性のある織物を使用しています。また車椅子からの移動時に介助者が身体を抱え上げやすいようにパンツに取手をつけるなど、着替えやすく、着心地のよい構造となっています。



昨年度までの成果品

（左からレディーススーツ、ジャケット・パンツ、メンズコート、レディースコート、礼服・スーツ、ブルゾン・デニムパンツ）